

| | | | | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| ふりがな 氏名 | たけうち ゆりえ | 都道府県 | 東京都 |  |
| | 武内 友里恵 | | | |
| 所属/肩書 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋谷ユネスコ協会連盟会員 ・ 上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科 | | | |
| 私のESD活動 | ユネスコスクールでの学びとユネスコ活動、教育への探求心に基づくサークル活動 | | | |

活動の概要

私は、中高6年間をユネスコスクールである不二聖心女子学院で学びました。当時行ったESD活動は社会福祉、国際貢献、気候変動教育に関する活動です。社会福祉の面では自主的にサマーショートボランティアに参加しました。国際貢献活動では、高校1年時にマルタ共和国、高校2年時にカンボジアでの研修に参加しました。そこでは異文化交流を企画して実施しました。特にカンボジアでは内戦の歴史を学び、教育の重要性を痛感する機会となりました。他にも、難民教育基金の日本事務所長を招いた講演会の後、難民の方々の郷土料理を再現する初の企画を立ち上げ、結果的に校内で難民や世界の課題への関心を広めることができました。気候変動に関する活動としては、学校内の森林の環境改善を図る活動を行いました。実際に森の健康診断や植樹を行う取り組みは、全国でも類を見ない先駆的な取り組みです。結果として日本の林業における課題や生物多様性について理解を深めました。

大学入学後はインドとフィリピンの初等教育支援を行う「めぐこーアジアの子どもたちの自立を助ける会」に入会し、募金活動やグローバルフェスタでの出店を行い、開発途上国での教育の機会均等を目指しています。また日本ユネスコ協会連盟に加入し、地域での活動だけでなく全国の青年が集う大会やユネスコ活動70周年記念の大会に参加し、ESD活動に携わる方々とのつながりを強化し活動の幅をさらに広げています。

○「高校でのESD活動の具体例として、難民の方々の郷土料理を作る企画について」 http://www.fujiseishin-jh.ed.jp/school_diary/2016/02/6526/

○「大学で行っているサークル活動のホームページ」 <http://meguko.net/>

今後の活動や協働への展望

コンファレンスへの参加によって、自分のこれまでの活動を振り返るとともに、いま国内外でどのような活動が行われているのか、また若者がどうかかわっているのかを知ることができると思います。それらの学びや話し合いで得た成果を生かして、コンファレンスで出会った方々と共に、ESDに関する今までよりも高度な活動や社会への働きかけを行いたいです。また、自分が所属している渋谷ユネスコ協会連盟の活動を発展させたいです。例えばESDやユネスコ活動について様々な世代の地域の方々に発信し、平和や教育を身近な話題として改めて考えるきっかけを作りたいです。また、これまでのユネスコ活動で出会った全国の青年たちとともに何らかの行動を起こし、若年層が減少しつつある日本のユネスコ活動をさらに盛り上げていきたいです。

当然ではありますがESDや国際社会の取り組み、日本の課題、グローバル化した世界での平和構築について勉強を深め、これからの進路や研究につなげていきたいと考えています。

他には大学でも、過去にESDユース・コンファレンスに参加した友人や、教育への高い関心を持つサークルの友人とともに、国際社会を構成する主体である市民として大学内外でESD活動に関する啓発活動ができるのではないかと考えます。このようにESD活動を発展させていくことで、ESD日本ユースとしてその取り組みを国内外に発信し、現状の改善に向けて協働していきたいです。